



特定非営利活動法人フードバンク京都

〒617-0002 京都府向日市寺戸町山繩手4-2 電話075-201-9291

代表 高島 由美

mail: 1 fbkyoto@gmail.com

web: <https://www.foodbankkyoto.com/>

facebook: <https://www.facebook.com/1foodbankkyoto/>

誰かのために自分を役立てる

代表 高島 由美

前回の広報誌から少し期間が空き、皆様に誌面で活動をお伝え出来ていなかったことを、たいへん心苦しく思っています。それにも拘らず皆様の深いご理解と、惜しみないご協力を受け、深く感謝申し上げます。

この一年を振り返ると「コロナ禍」を外すことは到底無理な話です。生活が激変し、支援を必要とされる家庭が増えたことは言うまでもなく、老若男女・国籍を問わず出口の見えない不安の中に陥っておられます。

“私たちに一体何が、どれだけ出来るのか!?” より強く考えさせられた一年でした。

「フードバンクが無くても、ごく当たり前に助け合える世の中になってほしい!」その到達点を目指して今日まで活動を進めてきました。

目指す目標は、まだまだ果てしなく遠い道のり…

しかし、ボンヤリ兆し…

コロナ禍以降、個人の寄付や新規でボランティアの申し込みも増え、窮地に立った人を助けたい!何か役に立ちたい!と思う人がアクションを起こし始めているのは事実で、温かさを感じます。

今まで居眠りしていた「自分を役立てたい!」と言う思いが、自然に行為として現れてきているのではないのでしょうか。世界中を震撼させ、今もまだつづくパンデミック。自我の覚醒は、それぞれ時期の問題もあるとは思いますが、大きな衝撃や悲哀によって成されることは、よく語られることです。

私たちは、世界中を包み込んだ不幸から学び・考え、自ら選択して後につづく世代に、より良い道を切り開く責任があると思います。

私たちフードバンク京都は、『誰かのために自分を役立てる』終始この一語に忠実でありたいと願っています。

いつも、ありがとう

社会福祉法人 青葉学園

栄養士 神田 栄子

フードバンクさんとお出合い、さてもう3～4年前になるでしょうか？冬だったと思います。雪が積もった日におやつを届けていただいたこと忘れられません。いつも本当にありがとうございます！この言葉しか思いつきません。

当学園では現在4歳から18歳までの子どもたちが5つの家に分かれて生活をしています。一見屈託のない顔をしていても私たちには計り知れない想いをもっていることでしょう。職員は様々な子どもたちと毎日向き合って生活しています。時には親のように厳しく、時には兄弟のようにやさしく、時には友達のように寄り添い。しかし、ぶつかり合うこともしばしば。でもこんな時、いただいたおやつと一緒にティータイム、一瞬で心が和みます。おなかをすかせてピリピリしていても一緒に囲む食卓、こんなひと時は何ものにも代えがたく心も体もほっこり、ゆったり時間を与えてくれます。こんな時間を与えてもらえるのも様々な方々のいろいろなご支援のおかげです。

どうか今後も次の世代を担う子どもたちへの支援をよろしく願いいたします。私たち職員もこのようなご支援を当たり前と思わず感謝できる人へと子ども達と共に成長できればうれしいと思っています。また、子ども達も今受けているご恩を次の世代にはお返しができるような人になれるよう私たち職員は支援をしていかなければならないと思っています。



知らない者同士でもつながり支えあっている世界

スタッフ 赤岡 光

「うわあ！今日はダンボールが沢山並んでる！」

支援先の母子支援寮での、小さな男の子の声でした。職員さんが、「今日はパンも沢山あるよ、1パックずつ持っていけるよ。」と笑顔で話されていました。大手スーパー様から頂いたパンや、レトルト食品、お野菜が詰め込まれたダンボールを運んでいた時の出来事でした。皆様から頂いた物品の善意は、支援を必要とされている方々をこうして笑顔にしています。

私は、フードバンクで配送の係をしております。届け先では、こうした光景に出会うことがあります。この笑顔にたどり着くまでには、様々な方たちの善意の思いから始まり、様々な人の手を介して、届けることができます。まず、皆様からいただきました物品を、仕分けメンバーが、賞味期限を確認しながら、商品の種類別ごとに仕分けしていきます。また、フードバンク京都では、レトルト食

品等の支援が多い中、身体にも優しい物の提供が少しでも可能になるようにと無農薬の畑で、野菜を作っています。野菜作りのメンバーが季節を問わず、畑を整備し、耕し、健康的な野菜を作ってくれています。その他、団体の運営の事務手続き、支援日のスタッフ間での連絡、調整等を行いながら、やっとひとつの支援のダンボールができます。

裏方で作業してくれているスタッフ、スーパー等でフードドライブの箱に物資を入れてくださっている方々、県外から、フードバンクの活動をネットで見られて事務所へ物品を送って下さる方々、お米を送って下さっている方々は、この笑顔を直接見ることはありません。ですが、皆さんの沢山の善意の思いが、ひとつのダンボールに込められ、支援を必要とされる方へ届けられることで、この小さなお子さんのように、「嬉しい！」という気持ちにさせています。

困難な状況にありながらも、一瞬だけでも、みなさまの思いのこもったダンボールで、そんな前向きな気持ちになれることで、それぞれの壁を乗り越えていける光になっているような気がします。みなさま、いつも、ご支援、ご協力いただきまして、ありがとうございます。



農作業ボランティアで恩送り

スタッフ 兵藤 暁人

農作業ボランティアを通して、僕も学ぶことが多いです。

畑の土作りや草刈り、野菜の種蒔きや収穫など、いろいろな農作業を季節や天気の変化に合わせてしていますが、失敗も含めて人と自然のやりとりは楽しいです。

自然農法を取り入れたフードバンク農園の野菜は味わい深く、草や虫や微生物と共存しながら成長するので、あらためて食べ物が生き物であることを実感できます。そして、すべての命はつながっていることが心と体でわかるので、自分は自然の分身だという意識がさらに強くなりました。

また、一緒に農作業ボランティアをしてくださる方々との様々な交流も、僕を人間的に成長させてくれている気がします。

僕のライフワークは、農福連携（農業と福祉を掛け合わせた仕事）です。昨年ご縁があって、僕はフードバンク農園の隣にある障害者福祉施設と雇用関係を結びました。これからは両方の架け橋になるような役割を果たすために、僕なりの努力をしたいと思います。

はじめの一步として、農作業ボランティアの時に施設のトイレが使用可能になって、本当によかったです。

『しあわせのパン』という僕の好きな絵本のような映画があります。その映画の印象的なシーンで、主人公が「カンパニオという言葉はパンを共に分け合う仲間って意味です」と話していました。フードバンクの活動が広がるにつれてカンパニオも増えたらいいなと、僕は素朴に思います。





講演活動も行っています

近頃フードバンク京都には、食品の提供だけでなく、講演やプレゼンテーション等の依頼が入ることも増えてきました。今回はその内容や担当スタッフの想いをご紹介します。



▲高校性が制作したフードロステーマにした動画の一部



▲フードバンクに関するプレゼンテーションの様子



▲インターナショナルスクールで行われたフードドライブの様子

講演活動について

スタッフ 藤原 純子

フードバンク京都は、講演活動もしていることをご存じでしょうか。

学校に出向き、ある時には、フードバンク京都の畑で農作業をしながらお伝えしています。

対象は、幼稚園生から大学生までの方に関わらせていただきました。

幼稚園生から中学生までは、インターナショナルスクールの生徒さんです。

きっかけは、一人の生徒さんの想いから始まり、学校全体の取り組みとして広がったのです。それからは、毎年講演に出向き、学校でフードドライブもしていただき、たくさんの食料品が集まりました。大学生には、Zoomでお話させていただいたり、畑で苗を植えながら、お話したこともありました。高校生は、自分たちで番組をつくりたいと、私たちがインタビューを受けました。学校以外では、地域のラジオ番組に、スタッフからのつながりでお声がかかったこともありました。

話す中で大事にしていることは、数などのデータももちろんですが、それよりも、最近の大変な状況の中で、生きておられる方々のことを少しでも知っていただきたいなあと思いながら、話しています。

「もし自分が同じ立場なら、。。」と考えるきっかけになればと思います。

内容は、フードバンク京都の活動について全般に話しますが、学校や生徒さんからは、フードロスについても話してほしいという要望があります。なので、私なりに現状を調べたり、買い物の時は割引になっている食料品から購入するようになりました。

困っている人の少しでも力になりたいと思い、始めた活動ですが、フードロス解消にもつながっていることに奥深さを感じます。

理事長が、「講演活動は、種をまく活動ですね」と話しますが、その通りだなあと思います。畑作業にも携わらせていただいています。種をまいても芽が出ないときもあります。でも根気よくまけば芽が出てくれます。

私は活動の後、「相手の畑に種をまいているようでいて、実は、自分の心の中にも芽がでてくるんだなあ」と思うことがあります。

これからも、ご縁があれば、種をまいていきたいなあと思います。

今年もJA品評会でお野菜をいただきました

毎年、年に二回行われるJA京都の品評会。今年はコロナ禍で一般即売がなくなり、フードバンク京都も沢山のお野菜を頂くことができ、多くの機関、施設にお届けすることができました。



2020年7/8に北野天満宮で、11月13日には京都の平安神宮でJA京都の品評会が行われました。コロナにより一般即売会が中止となり、たくさんの野菜や農作物が私たちフードバンクのようなボランティア団体に譲られました。

私たちはいただいたお野菜を、少しでも新鮮なうちに、食べることに困っている方々や手厚い支援を必要とするご家庭にお届けするべく、各自手分けして母子支援施設、児童養護施設、子ども食堂さんなどにお届けしました。



フードバンク京都の農園でも、野菜を育て、支援に役立っていますが、これほど多くの農作物を一度にお届けできる機会はそうありません。大変貴重なありがたい機会だと思っています。



ダイエー・グルメシティ・KOHYO・マックスバリュにてフードドライブ実施中！

毎月第3週目の(月)～(日)の一週間、店舗にてフードドライブを行っています。

期間中は店内に専用のボックスを配置しています。是非ご家庭にある食品をお持ちよりください♪集められた食品はフードバンク京都に寄付されます。実施する店舗は下記をご覧ください。

- | | | |
|-------------|------------------|--------------|
| ・ ダイエー桂南店 | ・ グルメシティ西大路店 | ・ KOHYO 京都店 |
| ・ グルメシティ上桂店 | ・ ダイエー瀬田店 | ・ KOHYO 北大路店 |
| ・ グルメシティ北山店 | ・ イオンフードスタイル東向日店 | ・ KOHYO 上七軒店 |
| ・ グルメシティ嵯峨店 | | ・ マックスバリュ藤森店 |

<対象となる食料品 (条件) >

- | | |
|-----------------------|-------------------------------------|
| ・ 未開封であること | ・ 成分表示またはアレルギー表示があること |
| ・ 賞味期限まで1ヶ月以上あること | ・ 上記条件に当てはまるものであっても、アルコール類や手作り品は対象外 |
| ・ 常温保存が可能であること | |
| ・ 製造者または販売者が表示されていること | |

活動実績 (2020年4月～12月)

(1)定期的な支援活動	
① 母子家庭支援施設	3カ所/2, 656. 9kg
② 児童養護施設・自立支援ホーム・ファミリーホーム・更生保護施設	5カ所/1, 152. 8kg
③ 子ども食堂	6カ所/1, 061. 4kg
④ その他の団体等	4カ所/1, 104kg
(2)不定期な支援活動	
社会福祉協議会・福祉施設・その他	433kg

(3)フードドライブ	
小売店の共同実施を含む	95回
(4)緊急支援	
行政・社協・福祉施設等からの要請	2,769.8kg
(5)農園による生産活動	
玉ねぎ、じゃがいも、茄子、ネギ、にんじん、トマト、その他、季節野菜等	

ご提供いただいている皆さま (五十音順、敬称略)

- | | |
|------------------------------|----------------------------------|
| 1) 明石農場 (野菜) | 15) 京都マラソン(飲料、菓子、果物) |
| 2) アゲハラクラシック (パン) | 16) 京都レディースソフトテニス連盟(フードドライブ) |
| 3) 石田ファーム (野菜) | 17) 京都ロイヤルライオンズクラブ |
| 4) ヴィレッジトラストつくだ農園 (野菜) | 18) 国際ソロプチミスト京都(フードドライブ) |
| 5) 株式会社光洋(フードドライブ) | 19) コープ自然派(パン) |
| 6) 株式会社ダイエー(フードドライブ) | 20) JA 京都市本店(野菜) |
| 7) 亀岡市社会福祉協議会(フードドライブ) | 21) センター (菓子) |
| 8) 京果グリーンセンター (野菜) | 22) 大京食品株式会社 (おあげ) |
| 9) 京都葵ライオンズクラブ(フードドライブ) | 23) 中村くらしを見直す会 (野菜・ドライ食品) |
| 10) 京都インターナショナルスクール(フードドライブ) | 24) 矢野食品株式会社 (こんにゃく) |
| 11) 京都薫風ライオンズクラブ(フードドライブ) | 25) 立命館宇治中学高等学校(災害用備蓄食品) |
| 12) 京都市環境政策局ゴミ減量推進課(フードドライブ) | 26) 立命館衣笠キャンパス (フードドライブ・災害用備蓄食品) |
| 13) 京都紫明ライオンズクラブ(フードドライブ) | 27) 立命館小学校(災害用備蓄食品) |
| 14) 京都パレスライオンズクラブ(フードドライブ) | |

その他、多くの個人さまからもご提供いただいておりますが、個人情報保護のため伏せさせていただきます。

ご寄付の仕方が選べるようになりました

フードバンク京都は完全ボランティア団体です。皆さまから寄せられたご寄付が活動の資金となります。どうか皆さまのお力添えよろしくお願い致します。

Syncable シンカブルのサイトから クレジットカードでご寄付

- 1) 賛助会員(毎月自動的に寄付) 一口 1,000 円
- 2) 一回のみのご寄付

ゆうちょ銀行からご寄付

- 1) ゆうちょ銀行 記号：14450 番号：43891781 (トク)フードバンク Kyoto



<https://syncable.biz/associate/fbkyoto/donate/>
シンカブルで検索も出来ます。
シンカブルで検索→シンカブルのサイトを見つける→「団体を探す」→フードバンク京都で検索→「寄付する」を選んでください

※ゆうちょ銀行以外の銀行から振り込まれる場合は下記口座をご指定ください。
【店名】四四八 【店番】448 【預金種目】普通預金 【口座番号】4389178